



栗原市立高清水中学校閉校記念誌



ありがとう
～つなぐ未来を～
栗原市閉校記念誌

2019.03



あいさつ			
高清水中学校 閉校記念誌の発刊に寄せて	栗原市長	千葉 健司	1
高清水中学校の閉校に寄せて	栗原市教育委員会教育長	佐藤 新一	2
高清水中学校の閉校に当たって	栗原市立高清水中学校校長	阿部 勇志	3
閉校に寄せて	栗原市立高清水中学校PTA会長	齋 和哉	4
栗原市立高清水中学校 校歌			
生徒数の推移・校旗・校章			
高清水中学校のあゆみ			
～昭和			7
～昭和・平成			8
学校の概要			
学区の概要			9
校舎のようす			10
歴代校長			11～12
歴代PTA会長			13～14
寄稿文			
～歴代校長～			
高清水中学校の閉校に寄せて	～東日本大震災に直面して～		
		第23代校長 佐藤 泰孝	15
すばらしい学校		第25代校長 木村 裕一	16
～元職員～			
閉校に寄せて	宮城県立古川支援学校	教頭 小野寺春樹	17
～歴代PTA会長～			
ありがとう		第36代PTA会長 高橋 真智	17
～卒業生から～			
ありがとう高清水中学校		沼倉 猛 (昭和34年度卒)	17
ありがとう高清水中学校		千葉 美子 (昭和39年度卒)	18
高清水中学校での思い出		伊東 輝行 (昭和55年度卒)	18
心の想いで・息子の成長		北村 昭彦 (昭和55年度卒)	19
閉校を前に	(旧姓木村)	油井 淳子 (昭和60年度卒)	19
高中卒業生として		佐藤 富一 (昭和61年度卒)	20
オレンジの時代		北村奈津子 (平成10年度卒)	20
真風～一人一人の力で～		片寄 大 (平成18年度卒)	21
思い出		冨塚みさと (平成21年度卒)	21
閉校にあたって		高橋 太一 (平成26年度卒)	22
在校生メッセージ			
～高清水中学校で楽しかったことや学んだこと		1年	23～24
		2年	25～26
		3年	27～28
思い出のアルバム			
			29～39
編集後記			
	栗原市立高清水中学校	教頭 長田 智紀	40





高清水中学校 閉校記念誌の発刊に寄せて

栗原市長 千葉 健司

旧高清水町は古くから街道の町として栄え、日本名水百選に選ばれた桂葉清水に代表される湧水群など、豊かな水環境と多くの歴史・文化遺産が残る自然豊かな地であり、この場所で子どもたちに多くの喜びと学びを与えてきた高清水中学校が閉校するにあたり一言ごあいさつを申し上げます。

昭和22年に、高清水中学校として開校以来、長い歴史と伝統を築き、高清水地区の発展と地域文化の進展に重要な役割を果たしてこられました。

恵まれた教育環境の中、学校及びPTAそして生徒個人にわたり幅広い分野において多くの優良受賞をされておりますことは、地域皆様の長年にわたる御支援の賜であり、厚く御礼申し上げます。

また、歴代の校長先生をはじめ、教職員、関係者の皆様の並々ならぬ御尽力に対し、深く敬意と感謝の意を表する次第であります。

さて、長い歴史の中で、保護者をはじめ地域の方々の学校教育に対する深い御理解と御協力によりまして、健全な子どもたちの育成やPTA活動が活発に行われてきたのが高清水中学校であります。

特に、『誇りと活力に満ちた「いい学校」を創る』を学校経営方針の核として、「知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな生徒」の育成を目指して、郷土愛と誇りを持たせる教育活動や校内研究を推進され、確かな学力を育むため少人数教育や個に応じたきめ細かな指導、さらには、地域でのボランティア活動や職場体験学習など、志教育による豊かな心の育成に力を注がれてきたところであります。

このように、地域に愛され続けてきた高清水中学校が、栗原市全体における学校再編の流れから、本年3月31日をもって校史を閉じることとなりましたことは、これまで高清水中学校を巣立った皆様、また、地域の皆様にとりまして、深い愛惜の念があると拝察いたします。

しかし、ここで歴史が終わるのではなく、校歌にもありますように、「光あれ・誉あれ・栄あれ」の伝統が次代に受け継がれ、新たな歴史が刻まれていくことを願うものであります。

栗原市といたしましても、今後も、学府くりはらの実現に向けて、教師と子どもたちがしっかりと向き合い、学校生活に満足感や達成感がこれまで以上に得られる教育環境づくりを目指すとともに、高清水地区の更なる発展と子どもたちの健やかな成長を心から御祈念申し上げ、閉校記念誌発刊のあいさついたします。



校舎





高清水中学校の閉校に寄せて

栗原市教育委員会

教育長 佐藤 新一

「桂清水の湧くところ」にたつ高清水中学校は、昭和22年4月、教育基本法に基づく新しい教育制度のもとに創立されました。

「我が中学に光あれ、誉れあれ、栄あれ」と校歌の一節にあるように、多くの優れた人材を輩出し、地域と共に歩み続けてきました。昭和26年、バレーボール部が宮城県大会で優勝するなど部活動にも力を入れ、その活躍は学校の伝統となっております。また、文化活動においてもその成果が顕著であり、多くの歴史や伝統を積み重ね、地域の教育振興・文化活動の拠点として歩み続けてきた学校でもあります。

私事ですが平成元年から平成8年3月まで、7年間勤務させていただき栗原の第二の母校と思って過ごしておりました。経験のない野球部の顧問を担当し、地域の方々、保護者の皆さんにお世話になりながら、生徒たちと共に汗を流していたこと、桂葉祭など様々な行事では地域と学校が一体となって教育活動を行っていたことなどが鮮明に記憶に残っています。

地域と共に歩み続けてきた高清水中学校が、平成31年4月、瀬峰中学校と再編され「栗原市立栗原南中学校」として新たなスタートをきることになりました。地域の皆様にとっては計り知れない寂しさや愛惜の念を禁じえないことと思います。再編にあたり、御理解と御協力をいただきました皆様に心より感謝申し上げます。

今、少子化時代を迎え、子どもたちの著しい減少により切磋琢磨し合う教育活動や部活動の運営が困難になっている現状があります。また、急激に変化する社会、国際化時代への対応等を考えたとき、将来を生き抜く心身ともに逞しい子どもたちの育成のためには学校再編は避けて通れない一つの道であります。

しかしながら、学校再編は単に学校だけの再編ではなく、地域の再編にも結びつくものであり、地域の皆様の協力なくしては、ねらいを達成することができません。

高清水・瀬峰地区を問わず、子どもたちも地域の方々も老若男女も一緒になり、親睦と交流を深め、新しい地区コミュニティの構築を進めながら、「再編してよかった」と語り継がれるような新しい学校を創り上げていただきたいと切に願っております。

子どもたちにはこれまで永きにわたって受け継がれてきた高清水中学校の輝かしい歴史や伝統を新しい学校にも引き継ぎ、新たな「地域と共に歩む学校」の創造に向けて取り組んでいってくれることを期待してやみません。

結びに、これまで72年の永きにわたり学校を支えてこられた地域の方々、教職員の皆様に衷心より敬意と感謝申し上げまして閉校記念誌に寄せる言葉といたします。





高清水中学校の閉校に当たって

栗原市立高清水中学校
校長 阿部 勇志

高清水中学校は昭和22年に創立し新しい一步を踏み出してから、平成31年3月31日までの72年に渡る長い歳月を地域の方々から支えられ、教育活動を展開してまいりました。創立当時から、地域の方々や保護者からの期待は大きく、「地域に浮かぶ船」としての学校の役割を十分に果たし、PTAの方々と共に生徒一人一人の健やかな成長を願い頑張ってきたものと推察します。

今年度で本校を巣立っていった卒業生は、約6300名となります。現在在籍している生徒たちも同様ですが、生徒たちは将来の大きな夢をもち、夢の実現のために日々の学習等に取り組んできたことと思います。その夢を叶えさせるために、教職員と保護者が互いの時間を共有し、子どもたちの成長のため、熱心に話し合い等を通して学校行事等を進めてこられたのではないのでしょうか。その気持ちが最終的には子どもたち一人一人に伝わり、生徒たちの数々の成長が見られたはずです。

その成長の成果として、生徒たちの活躍があります。部活動では、在学中に一つの競技を通して、協調性や努力することの大切さなどを学び、その結果とし昭和26年度のバレーボール部の県大会優勝をはじめ、数多くの部活動が県大会出場を果たしました。また、今年度においては、男子バレーボール部や高清水・瀬峰中学校合同で結成された野球部が市中総体で優勝を果たし、陸上競技においては100m競技で県大会2位となり、東北大会に出場した生徒もおります。何事にも最後まで真剣に取り組む、諦めない気持ちがこのような形になったものと信じております。また、学習面においても高校、大学に進学後、高清水中学校で培った力をそれぞれの分野で発揮していることを卒業生等から聞くたびに、嬉しく思います。

時代の流れとは言え、地域から中学校が無くなることは本当に辛いことであります。しかし、高清水で育った子どもたちは、地域や保護者の皆様から受けた愛情は深いものであり、郷土への愛情は限りないものがあると思います。その気持ちは新設校の栗原南中学校に行っても、永久に続くものと信じております。

結びになりますが、地域の方々に惜しまれながら閉校を迎える高清水中学校ではありますが、子どもたちは地域の宝であります。今後も依然と変わらぬ、子どもたちへの温かい御支援・御声援を賜りますようお願い申し上げます。そして、高清水の子どもたちが地域の皆様からの愛情を受け、地域への思い（誇り）をもって今後の学校生活を送って欲しいと切に願うものであります。





閉校に寄せて

栗原市立高清水中学校
PTA会長 齋 和哉

ここ高清水に生まれ育ったたくさんの人々がこの高清水中学校で学び巣立ち、多く立派な人材を輩出してきました。そして、地域の皆さんに愛され共に歴史を刻んできた高清水中学校が、平成31年3月をもって72年の歴史に幕を閉じることとなりました。もうすぐ、この学舎から生徒の声が聞こえなくなるのかと思うととても寂しく思います。そう感じるのは私だけでなく、地域の皆さんや多くの卒業生の方々も同じこととお察しいたします。

少子化の進行で、高清水中学校の生徒数も年々減少し、今年度の全校生徒は77名となりました。子どもたちは、少人数ならではの穏やかな雰囲気と地域の温かさがある恵まれた環境の中で意欲的に学んできました。しかし、更に子どもたちにとってより良い教育環境の在り方について協議を重ねてきた結果、高清水中学校と瀬峰中学校が統合し、栗原南中学校として再編することとなりました。

縁あって私は、高清水中学校最後のPTA会長を務めさせていただきました。PTA会員の皆さんや先生方との出会い、地域とのつながりに感謝しつつ母校高清水中学校への思いが深まった1年でもありました。我が家では、親子三代が高清水中学校の卒業生です。息子の卒業式、娘の入学式で高清水中学校の校歌を全校生徒と一緒に歌う機会を得て、自分の卒業式以来33年ぶりの式典での校歌斉唱は熱いものを感じました。また、娘の学年は、高清水中学校として最後の入学式でもあり感慨深いものがありました。我が子が校歌を覚えるのに家族で歌い練習しました。幸せなひと時で、今では良い思い出となっています。校歌の歌詞をたどれば旧高清水町の風景がまぶたに浮かびます。校歌を歌えば、先生方から受けたご指導、同級生や先輩後輩と活動した部活動や文化祭「桂葉祭」など我が母校での中学校時代の様々な思い出が蘇ってきます。

今年度の中総体は、高清水中学校として臨む最後の中総体でした。生徒数が少ないながらも陸上競技、野球、バレーボール男子が県大会出場する等、生徒の活躍が光りました。特にバレーボール男子は、控え選手もいないギリギリのメンバー6名で市中総体連覇を達成しました。この功績は、高清水中学校最後の年として有終の美を飾ってくれました。

中学校生活に真剣に取り組み、文武両道で頑張っており成果を出している子どもたちを見ていて、保護者の一人として、また高清水中学校の先輩の一人としてとても嬉しく思うと共に誇らしく感じました。

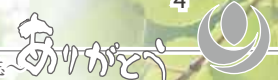
高清水中学校が閉校になりましても、これまでの歴史と伝統は、新生栗原南中学校に確実に受け継がれていきます。子どもたちには、栗原南中学校に行っても、高清水中学校校歌にあるように『光あれ』『誉れあれ』『栄えあれ』と願い、新たな出会いの中で切磋琢磨し、輝いていくことを期待しています。

最後にこれまでに高清水中学校の発展にご尽力を賜りました歴代のPTA会長をはじめ保護者、地域の皆様、歴代の校長先生はじめ教職員の皆様、そして多くの学校関係者の皆様に心より感謝申し上げます。

『桂清水の湧くところ、榎の実の樹かげ春秋に、水汲む影も美わしき、町はゆかりの高清水』（高清水中学校校歌より）

高清水の美しさ・温かさ・伝統に誇りを持ち、72年間、高清水の人と町に『光』『誉れ』『栄え』を与えた高清水中学校にありがとう。

航空写真（平成11年度）



栗原市立高清水中学校 校歌

白鳥 省吾 作詞
福井 文彦 作曲

か っ たら し み ず の わ く と こ ろ
え の み の こ か げ は る あ き に み ず
く む か げ も う る わ し き ま
ち は ゆ か り の た か し み ず わ が
ち ゆ う が く に ひ か り ひ か り あ れ わ が
ち ゆ う が く に ひ か り あ れ

一、桂清水の湧くところ
榎の実の樹かげ春秋に
水汲む影も美わしき
町はゆかりの高清水

わが中学に 光 光あれ
わが中学に 光 光あれ

二、栗駒山を望み見て

小山田川に散る桜

秋萬頃の稲そよぐ

町は住みよき高清水

わが中学に 誉 誉あれ

わが中学に 誉あれ

三、聴け吾が友よ朗らかに

平和の鐘の高なるを

いざ睦みつつ勇みつつ

新しき世の 道ゆかむ

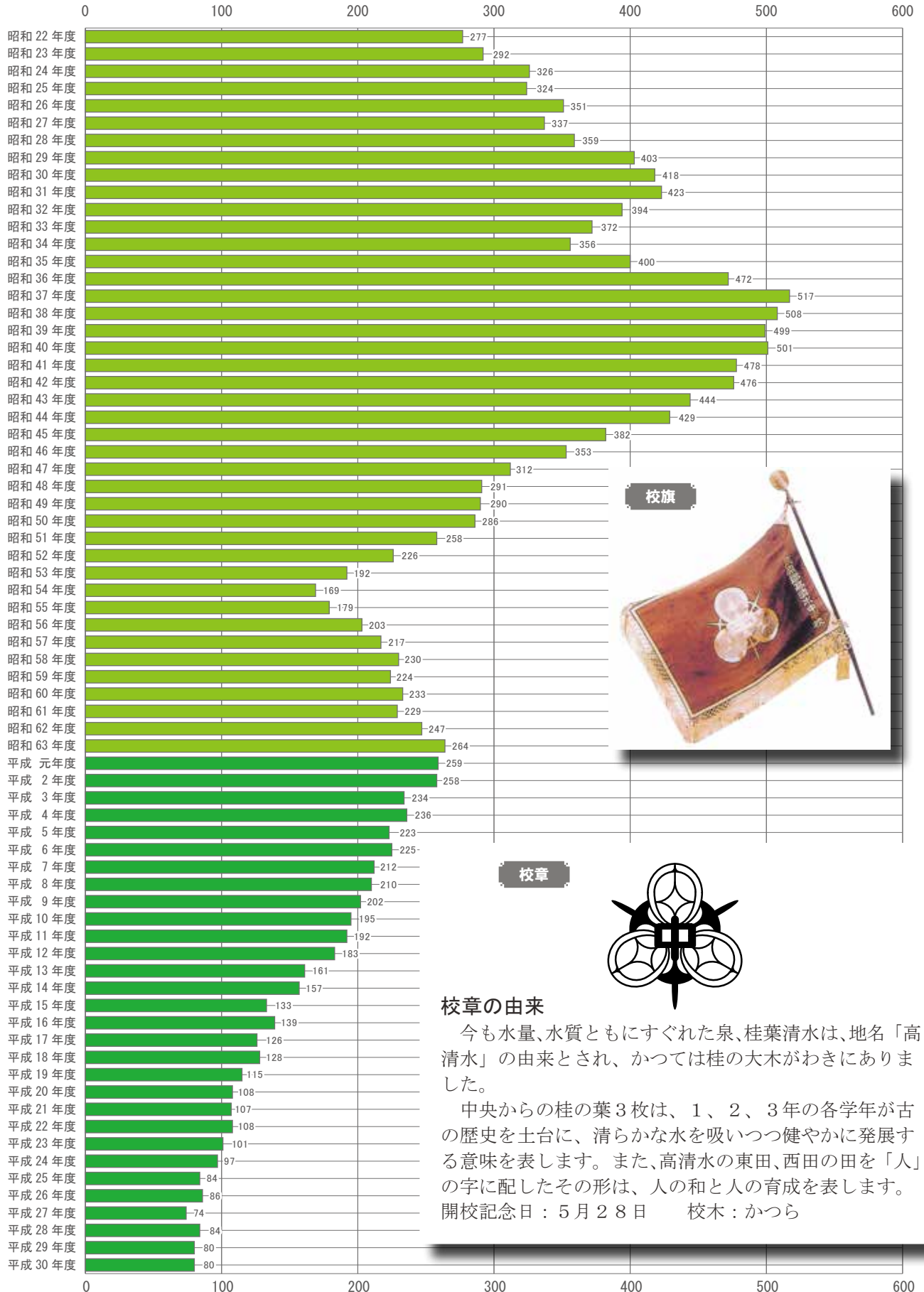
わが中学に 栄 栄あれ

わが中学に 栄あれ

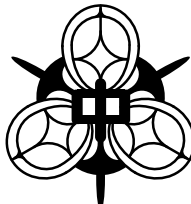
昭和二十四年十二月八日 制定



生徒数の推移・校旗・校章



校旗



校章

校章の由来

今も水量、水質ともにすぐれた泉、桂葉清水は、地名「高清水」の由来とされ、かつては桂の大木がわきにありました。

中央からの桂の葉3枚は、1、2、3年の各学年が古の歴史を土台に、清らかな水を吸いつつ健やかに発展する意味を表します。また、高清水の東田、西田の田を「人」の字に配したその形は、人の和と人の育成を表します。

開校記念日：5月28日 校木：かつら





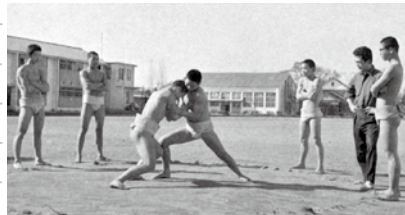
年月日	沿革概要	歴代校長
昭和 22. 4. 1	高清水町立高清水中学校 開校 (公民館・小学校 借用)	初 代 氏川 又一
17	開校式	
23. 5. 28	校舎落成	
24. 12. 8	校歌制定	
26. 5. 1		第 2 代 村上 勇亮
8. 26	バレーボール部県大会優勝	
31	校門建立	
28. 4. 1		第 3 代 高橋甚之丞
29. 12. 10	体育館落成	
30. 4. 1		第 4 代 村松 一男
5	町村合併により清滝小山田地区が通学区に編入	
6. 1	校旗制定	
33. 4. 1		第 5 代 鎌田 正
34. 4. 1	県産業教育研究校指定 (2 年)	
36. 2. 18	新校舎 第 1 期工事完了	
6. 1		第 6 代 柴田 豊壽
37. 4. 1	県学力向上対策研究校指定 (3 年) 運動会 (昭和 35 年度)	
28	新校舎 (特別教室棟) 第 2 期工事完了	
6. 20	ブラスバンド編制	
39. 4. 1	県産業教育研究校指定 (2 年)	
11. 24	学力向上対策公開研究会開催	
40. 4. 1	県緑化教育研究指定 (3 年)	
8. 21		第 7 代 和久 本治
10. 28	産業教育公開研究会 開催	
41. 11. 17	県学校保健優良校表彰	
42. 3. 6	国旗掲揚塔・学校池 新設	
7. 11	緑化教育公開研究会 開催	
43. 11. 30	県緑化コンクール入選	
44. 4. 1	県保健安全教育研究指定	第 8 代 後藤 雪男
7. 18	プール 落成	
9. 20	県緑化コンクール入選	
45. 4. 1		第 9 代 千葉 宗三
46. 4. 1	県特別活動研究指定 (2 年)	
47. 9. 29	特別活動公開研究会 開催	
12. 21	第 1 回桂葉祭 開催	
48. 4. 1		第 10 代 遊佐 強
49. 3. 1	生徒会文集「桂葉」 創刊	
12. 16	学校給食 完全実施	
51. 8. 6	木工室 新築	
52. 4. 1		第 11 代 佐藤 晃雄
53. 6. 12	宮城県沖地震 発生 災害復旧工事及び新校舎建築工事開始	
54. 8. 20	新校舎落成	
55. 4. 1		第 12 代 百々小五郎
10. 18	校木「かつら」 制定	
56. 4. 1	県福祉教育研究指定 (3 年) 中体連 (昭和 55 年度)	



授業の様子 (昭和 27 年度)



運動会 (昭和 35 年度)



相撲クラブ (昭和 37 年度)



郡陸上競技大会 (昭和 42 年度)



文化祭 (昭和 49 年度)



中体連 (昭和 55 年度)



年月日	沿革概要	歴代校長
昭和 58. 4. 1		第 13 代 村岡 祐喜
11. 18	福祉教育公開研究会開催	第 14 代 佐藤 幸一
61. 4. 1		
62. 4. 1	県生徒指導推進モデル地区指定	
10. 2	創立 40 周年記念式典開催	
63. 11. 9	生徒指導推進モデル地区実践発表会 修学旅行（昭和 60 年度）	
平成 元 4. 1		第 15 代 千葉 正廣
2. 4. 1	事務室設置工事	第 16 代 狩野 忠志
3. 4. 1		
4. 5. 28	創立記念日（5 月 28 日）制定	第 17 代 千葉 孝雄
5. 4. 1	県個に応じた指導研究指定	
6. 10. 7	個に応じた指導公開研究会開催	
7. 4. 1		
9. 11. 29	創立 50 周年記念式典開催	第 18 代 渡邊 全恵
10. 4. 1	新制服制定 県心をはぐくむ教育研究指定（3 年）	
11. 2. 4	新屋内運動場完成	第 19 代 千葉 裕一
3. 31	新自転車置場完成	
12. 3. 3	心をはぐくむ教育実践報告会開催	第 20 代 鈴木 信勇
13. 4. 1		
14. 4. 1	文部科学省学力向上フロンティアスクール推進校指定（3 年）	第 21 代 佐々木克良
15. 4. 1		
5. 26	三陸南地震発生 体育館等の被災により復旧工事	第 22 代 小野寺由美子
16. 7. 12	校舎改修工事	
9. 17	学力向上フロンティアスクール公開研究会開催	第 23 代 佐藤 泰孝
17. 4. 1	栗原市立高清水中学校と改称	
18. 3. 31	校舎改修工事	第 24 代 小野寺雄一
4. 1		
19. 9. 2	高清水地区運動会に全校生徒が学校行事として参加	第 25 代 木村 裕一
20. 4. 1		
6. 14	岩手宮城内陸地震発生 体育館使用不能となり復旧工事	第 26 代 阿部 勇志
22. 4. 1		
23. 2. 14	校舎耐震大規模改修工事	国際交流（平成 27 年度）
3. 11	東日本大震災発生 体育館、校舎等復旧工事	
24. 4. 1		
10	校舎震災復旧工事完了	
6. 27	体育館復旧工事完了	第 25 代 木村 裕一
8. 28	プール新築工事完了	
27. 4. 1	学力向上サポートプログラム支援校指定	第 26 代 阿部 勇志
29. 4. 1		
30. 10. 13	高清水地区総合防災訓練実施	職場体験（平成 29 年度）
31. 2. 24	閉校式典、校歌歌碑建立	
31. 3.	学校再編事業により 瀬峰中学校と統合するため閉校する （閉校式 平成 31 年 2 月 24 日）	



学区の概要

一人一人の顔が見える小規模校ならではの良さを生かし、生徒は明るく意欲的に学習や諸活動に取り組んでいます。

生徒会行事や部活動等では3年生のリーダーシップの下、全員が結束して取り組んでいます。

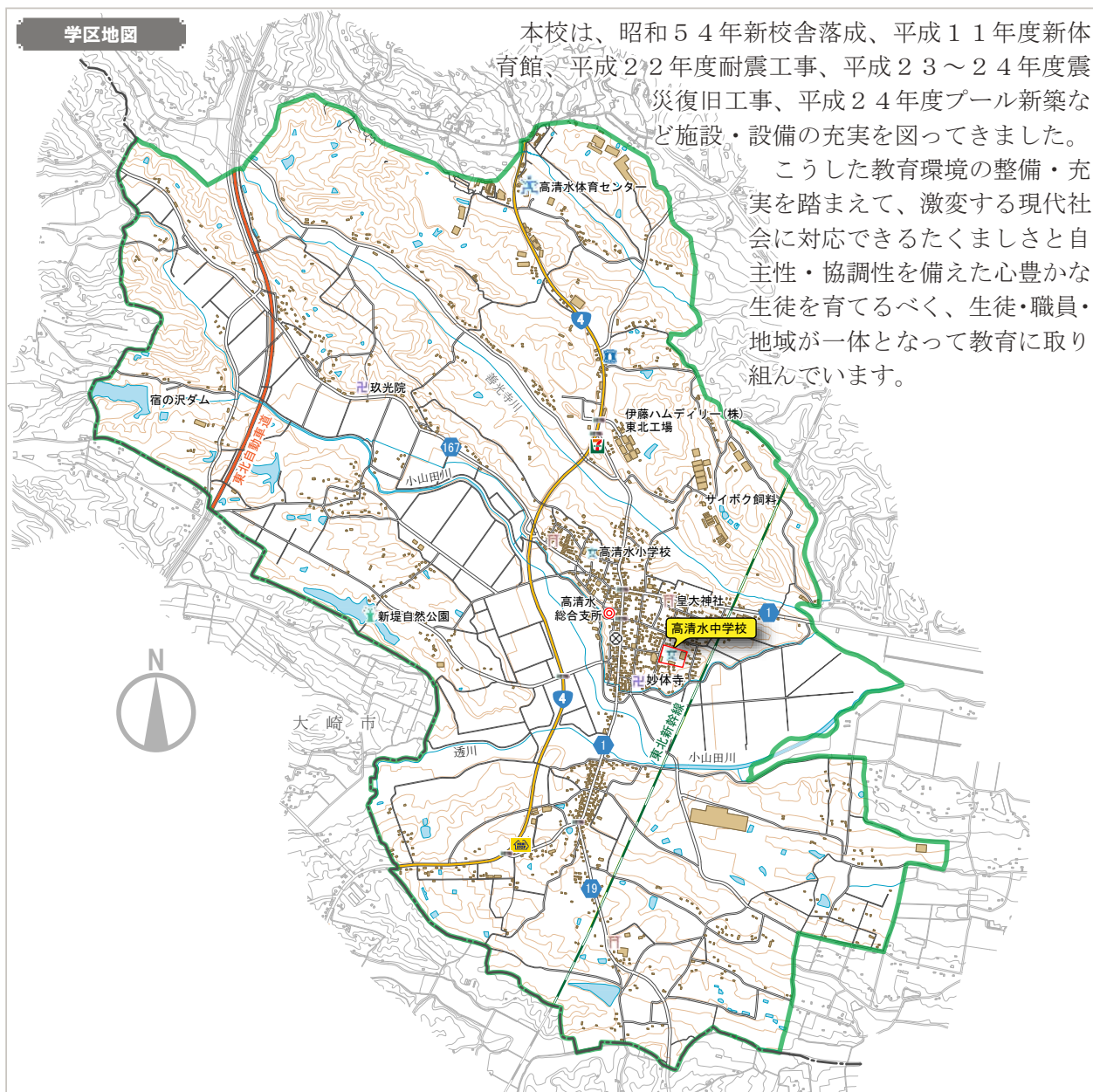
校歌を高らかに歌い、さわやかなあいさつが一日中響く学校です。

本学区は、栗原市南部に位置する半農半商の地域です。地区内には、ハムや自動車部品製造等の誘致工場があります。

また、総合運動場や生涯学習館、保健福祉センターがあり、地区民の手による地域づくりを推進しています。



学区地図

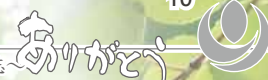


本校は、昭和54年新校舎落成、平成11年度新体育館、平成22年度耐震工事、平成23～24年度震災復旧工事、平成24年度プール新築など施設・設備の充実を図ってきました。

こうした教育環境の整備・充実を踏まえて、激変する現代社会に対応できるたくましさと自主性・協調性を備えた心豊かな生徒を育てるべく、生徒・職員・地域が一体となって教育に取り組んでいます。



校舎のようす



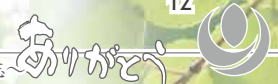


初代	氏川 又一 校長	昭和 22 年度～昭和 26 年 4 月 30 日
第 2 代	村上 勇亮 校長	昭和 26 年 5 月 1 日～昭和 27 年度
第 3 代	高橋甚之丞 校長	昭和 28 年度～昭和 29 年度
第 4 代	村松 一男 校長	昭和 30 年度～昭和 32 年度
第 5 代	鎌田 正 校長	昭和 33 年度～昭和 36 年 5 月 31 日
第 6 代	柴田 豊壽 校長	昭和 36 年 6 月 1 日～昭和 40 年 8 月 20 日
第 7 代	和久 本治 校長	昭和 40 年 8 月 21 日～昭和 43 年度
第 8 代	後藤 雪男 校長	昭和 44 年度
第 9 代	千葉 宗三 校長	昭和 45 年度～昭和 47 年度
第 10 代	遊佐 強 校長	昭和 48 年度～昭和 51 年度
第 11 代	佐藤 晃雄 校長	昭和 52 年度～昭和 54 年度
第 12 代	百々小五郎 校長	昭和 55 年度～昭和 57 年度
第 13 代	村岡 祐喜 校長	昭和 58 年度～昭和 60 年度





第14代	佐藤 幸一 校長	昭和61年度～昭和63年度
第15代	千葉 正廣 校長	平成元年度～平成2年度
第16代	狩野 忠志 校長	平成3年度～平成6年度
第17代	千葉 孝雄 校長	平成7年度～平成9年度
第18代	渡邊 全恵 校長	平成10年度～平成12年度
第19代	千葉 裕一 校長	平成13年度～平成14年度
第20代	鈴木 信勇 校長	平成15年度～平成17年度
第21代	佐々木克良 校長	平成18年度～平成19年度
第22代	小野寺由美子 校長	平成20年度～平成21年度
第23代	佐藤 泰孝 校長	平成22年度～平成23年度
第24代	小野寺雄一 校長	平成24年度～平成26年度
第25代	木村 裕一 校長	平成27年度～平成28年度
第26代	阿部 勇志 校長	平成29年度～平成30年度





歴代PTA会長



初代	佐藤 静一郎 会長
第2代	狩野 伝 会長
第3代	佐藤 龍治 会長
第4代	狩野 伝 会長
第5代	高橋 辰雄 会長
第6代	鎌田 勘一郎 会長
第7代	飯川 忠雄 会長
第8代	千葉 信悦 会長
第9代	佐藤 良幸 会長
第10代	木村 範彦 会長
第11代	小野寺 繁治 会長
第12代	千田 寿 会長
第13代	犬飼 精子 会長
第14代	佐々木 武 会長
第15代	鎌田 進 会長
第16代	武田 利行 会長
第17代	石垣 司弘 会長
第18代	高橋 信博 会長
第19代	大波 賢 会長



- 第20代 狩野伊一郎 会長
- 第21代 高橋 勲雄 会長
- 第22代 佐藤 政昭 会長
- 第23代 兵藤 博行 会長
- 第24代 佐藤 健治 会長
- 第25代 浅沼 健兒 会長
- 第26代 佐藤 格 会長
- 第27代 鈴木 篤夫 会長
- 第28代 真山 信治 会長
- 第29代 佐藤 健一 会長
- 第30代 武田 昭紀 会長
- 第31代 太齋 順 会長
- 第32代 志摩 幸三 会長
- 第33代 渡邊 毅 会長
- 第34代 北村 昭彦 会長
- 第35代 武田 正道 会長
- 第36代 高橋 真智 会長
- 第37代 佐藤 富一 会長
- 第38代 齋 和哉 会長





高清水中学校の閉校に寄せて

～東日本大震災に直面して～

第23代校長 佐藤 泰孝

2011.3.11.14:46

本校の校長室で、翌日挙行される卒業式の式場設営完了の報告を待っていた矢先の出来事でした。デスクの背後に掲額してあった歴代校長の写真が頭上を飛び越え、衝撃で割れたガラスの破片が床一面に散乱しました。

この2月に校舎の耐震工事が終了し、1、2階にはダメージが少なかったのですが、3階やペントハウスにあたる美術室、屋体、プールは壊滅状態でした。特に屋体は、天井のパネルのほとんどが落下、パネルを支えていた金属棒やボルトも落ちたり、ぶら下がったりと、さながら博物館に展示してある恐竜の骨の標本のように見えました。

さらには、屋体の最上部を飾る「うだつ」部分のコンクリートが人頭大ほどの塊となって幾つものステージ上に転がっていたのには、さすがに身の毛がよだつ思いがしました。まさに、地震の規模や揺れの大きさを物語る光景でした。

幸い生徒や職員には大事がなかったのですが、ただ、2年生の男子生徒2名が屋体から校庭に避難する際に、擦過傷と扉に体をぶつけて肩に軽い打撲を負ったという報告を受け、それだけが心残りとなりました。

地震発生と同時に生徒は、いち早く校庭に避難しましたが、小雪がちらつき始め、気温もかなり低下してきたので、耐震補強工事の際に設置された仮設のプレハブ校舎が解体されずに残っていたので、そこに生徒を集め、暖を取りながら保護者の迎えを待たせることにしました。17:00を目処に、残った生徒は地区担当の教員が引率して帰宅させる処置を講じました。

さて、卒業式はいつどこで開催しようかと、即座に頭をよぎりました。公立高校の入試結果の公表期日が迫っており、そのことに関する情報も入ってこないで、遅延するか否か相当迷いました。

校舎の破損状況を詳細に確認し、安全が保てる状況と判断して、3月14日（月曜日）に2階の3年生の教室で実施することを決断し、市教委にも了承していただきました。同時期くらいに実施した学校は、他に1、2校だけだったと記憶しています。

地震発生の折には3年生の大方が学校に残っていたので、即座に伝えたり、帰宅した者には伝令を走らせたりして、卒業式は無事全員が揃って挙行することができました。

復旧作業には、教職員一丸・一騎当千で取り組み、学校の正常化に向けた教職員の涙ぐましい姿が忘れられません。おかげで、修了式も校舎で期日通り実施することができました。しかし、追い打ちをかけたのが4月7日に起きた震度6強の余震でした。校舎の階段部分の壁に大きな亀裂が走り、その隙間から外の様子が見えたり、音楽室のピアノの前脚が接合部分から折れたり、さらに甚大な被害をもたらしました。

新年度の始業式や入学式は1週間ほど延期し、式場も高清水体育センターを借りての開催でした。その後の授業や部活動などは、体育センターや高清水小学校、プールは瀬峰中学校をお借りしてのやりくりでした。

電気、水、灯油やガソリンなどの燃料の供給が断たれた中、生徒たちも給水車からの配給の列に並ぶなど、頼もしい姿が見えましたし、不足は工夫で補うなど、生き延びる知恵も授かったように思います。また、弱者を思いやる心、協働して難局を乗り越えようとする強い意志もよみがえったように感じます。

『逆境に立たされた時こそ、その人間の真価が問われる』改めて思い知らされた2年間でした。



国際理解（平成22年度）



修学旅行（平成22年度）



すばらしい学校

第25代校長 木村 裕一

栗原市の学校再編により「近い将来」閉校になるという高清水中学校に、縁あって校長として平成27年4月に赴任し、2年間お世話になりました。高清水地区は遠く栗駒山を望み、春は美しく花々が満ち溢れ、夏は深緑に心洗われ、秋は黄金の稲の実りに敷き詰められ、冬は朝夕の白鳥や雁が整然と空を飛ぶ、本当に美しい町です。

赴任したとき出会った全校生徒は74人でした。小規模校ではありましたが、生徒は純朴そのもので、一人一人が磨けば磨くほど光り輝く可能性をもっていました。私は着任後すぐに、小さい学校ではあるが、この生徒たちならこの学校の生徒にも負けず、すばらしい学校を創っていけると確信しました。

小規模校ならではのよさを前面に出し、生徒たちと教職員一丸となって栗原一の中学校を創る試みを毎日意識しました。特に、平成27年度の3年生は様々なことに一生懸命取り組んでくれました。中総体では、たとえ劣勢でも仲間を信じて最後まであきらめず競技に打ち込む姿は今も心に焼き付いています。桂葉祭でも生徒たち自身が伝えたいことをさまざまな形で表現し、大いに盛り上げてくれました。

こうした姿が後輩たちの心を揺さぶらないはずがありません。翌28年度の高清水中学校はさらに飛躍した年だったと思っております。中総体ではソフトテニス部やバレー部の優勝をはじめ、どの部も好成績を収めてくれました。桂葉祭も前年以上に盛り上がり、劇や合唱、パフォーマンスに躍動する生徒の姿が忘れられません。学生の本分である勉強面でも、毎日真剣に授業に臨み、学力の向上に努めてくれました。

私が高清水中学校に関わった幸せは2年間でしたが、70年以上もこのように伝統を受け継ぎながら学校を創ってきた、この地域の代々の生徒たちを慮ると、閉校は残念なことではありません。

私が在職した2年間、常に生徒に寄り添った献身的な仕事ぶりの教職員や、学校の教育活動に理解と協力を惜しまない保護者や地域の方々のお力添えには、ただただ感謝の言葉しかありません。

高清水中学校は、この学校に関わった一人一人の心の中に末永く生き続けるものと信じています。



桂葉祭（平成27年度）



修学旅行（平成27年度）



壮行式（平成28年度）



桂葉祭（平成28年度）

**閉校に寄せて**

宮城県立古川支援学校 教頭 小野寺春樹

高清水中学校は教員としてのスタート切った学校であり、とても懐かしく、思い出深いものがあります。平成元年から6年までの6年間を過ごさせて頂きました。当時の高清水町（現在は栗原市高清水）は、栗原郡の中でも数少ない人口が増加していた町の1つだったように記憶しています。当時の高清水中学校は、各学年2クラスずつあり、全校生徒数が200名を超えており、とても部活動の盛んな学校でした。在校中私は、主にソフトテニス部を担当しておりました。ソフトテニス部の子どもたちは、非常に熱心に練習に取り組み、中体連等で優勝して県大会に出場するなど、とてもよい思い出として記憶に残っています。また、保護者の方々もとても熱心で、練習試合や大会の時など、送迎等で快くご協力頂いたように記憶しております。今でも感謝の気持ちで一杯です。

私は高清水中学校の生徒、同僚の先生方、地域の温かい雰囲気が大好きで、初任でありながら6年という長い期間を過ごさせて頂きました。特に生徒たちは、素直で、明るく、何事に対しても前向きで、熱心に取り組む姿が印象的でした。本当にこの学校が初任地で良かったと思っています。

平成最後の年に、高清水中学校は統合となってしまいますが、私は高清水中学校に勤められたことを誇りに思っています。卒業生の皆さんも高清水中学校の生徒であったことを誇りに、ますます活躍して欲しいと思います。

ありがとう

第36代PTA会長 高橋 真智

私にとっての高清水中学校は、貴重な体験をさせてくれた場所となりました。PTA役員に携わった中で、特に会長としての2年間は学校の行事の他に、市P連、県P連の行事もあり、忙しくしておりました。でもそれは、他校のPTA会長さんとの出会いや、研修会での勉強など、会長ならではの経験ができ、振り返ると楽しい思い出ばかりです。

高清水中学校PTA活動の思い出は8月の奉仕作業です。早朝にもかかわらずたくさんの会員が参加しての校庭除草作業。1時間ほどできれいな校庭に甦ります。その翌週、校庭を会場に地区民運動会が開催され、リレーなど、中学生の活躍が地域の方を楽しませておりました。

近年、どこの地域でも少子化により生徒数の減少が問題となっております。高清水中学校でも少人数の部活動に苦勞しておりましたが、夜の自主練習では地域の方に指導していただいたり、大会会場まで応援に来てくださったりと、生徒はもちろん、親の私たちも励みになりました。改めて感謝申し上げます。

高清水中学校が閉校になるのは寂しいですが、生徒の皆さんは瀬峰地区に学びの場を移しての中学校生活が始まります。新しい出会いがたくさん待っています。勉強、部活動もこれまで以上に充実したものとなるでしょう。皆さんの活躍を祈念しております。

結びに閉校後も高清水中学校の校舎、校庭が今まで以上に地域の皆様の交流の場となりますようお願いしております。

ありがとう高清水中学校

沼倉 猛 (昭和34年度卒)

私の同級生は昭和19年の4月から20年の3月までに生まれた人たちで生徒数は140人ほどだったと記憶しています。中学校に入学して感じたのは校歌でした。小学校の校歌は高音で「日は高清水」と歌っていたのが、中学校の校歌は低音で「桂清水の湧く所」と歌うので何か大人になったような気がしました。

授業も教科によって先生が変わりました。理由は忘れましたが英語の時間中に先生にクラス全員が説教されていた時のことです。先生から「沼倉、前にこい」と言われ、何のことかわからず出ていくと、「お前はいま笑った、説教しているときに笑うのは俺をバカにしている」と言われ、往復ビンタを浴びせられました。身に覚えがないことでそれ以来、英語の勉強は全くする気が無くなりました。

国語担任のK先生は「作文を書く時は飾ろうとしないで普段使っている自分の言葉で思い通り書けばいいんだ」と教えてくれました。そのとおりに書いたら、クラスのみんなの前で作文を朗読させられ、晴れがましい思いをすることができ、それ以来国語が得意科目になりました。K先生にも叱られたこ



とはありますがこの先生は「こら駄目じゃないか」と頭のとっぺんをこつんとやります。先生が俺のことを思って怒ってくれていると思える叱り方でした。

3年生になって、週に一度ほど3年生全員が進学組、就職組、家事手伝い組に分けられての授業がありました。私は家事手伝い組でしたのでこの時間は学校の畑仕事などもやっていました。この仕組みの中で「どうせ俺たちは」という卑屈な思いを持ったこともありました。中学校での3年間は、悔しいことも嬉しいことも辛いことも数多く経験し、そのすべてが人として生きる糧となり、私のその後の物の見方、考え方の基礎になっていると思っています。ありがとう高清水中学校。

ありがとう高清水中学校

千葉 美子（昭和39年度卒）

閉校にあたりご寄稿させていただきありがとうございます。時代の流れとはいえ、長い歴史と伝統、そしてたくさんの思い出が詰まった母校がなくなってしまうのは本当に残念ですが、子どもたちには出会いを大切に新しい中学校で友情を育んでほしいと思います。

今、卒業アルバムを開き、先生方や同級生の懐かしい姿を拝見し、在学中の3年間の思い出を振り返っております。特に記憶に残っている二つを書きます。

現在敷地にある池ですが、あれは私たちが2年生の時に男子がスコップで土を掘り、私たち女子と一緒に汗を流して作りました。周りにマーガレットの花が咲いていたので、初夏の頃だったと思います。



もう一つはイナゴ取りです。あの頃はまだ、田んぼにイナゴがたくさん飛び跳ねていたの

で、母が作ってくれた布袋を持って、早朝田んぼに行きイナゴをとりました。みんながズシリと重い袋を抱え登校しました。全校生徒の成果はすごいもので、その売上金をもとに学校ではステレオプレーヤを購入し、生徒全員が体育館の床に座り、そのステレオから流れる「コーヒールンパ」を物珍しく、少し大人びた気持ちで静かに聴いたものでした。私たちの同級生は4クラス164名。昨年、古希祝いの同級会を開きました。詰襟が背広に変わって50数年になりますが、すぐに中学生の頃の坊主頭と赤い頬っぺに戻り、思い出話に花が咲きました。

現在の私は子どもたちの入学式や卒業式に招かれ、一緒に校歌を歌う時、中学生の頃に一瞬戻れたような気がして元気ももらっております。3月の卒業式には感謝を込めて歌おうと思っています。新たな一歩を踏み出す子どもたちに夢と希望を託し、私たち卒業生は、そっと背中を押してやりましょう。

高清水中学校での思い出

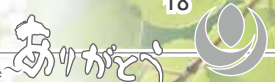
伊東 輝行（昭和55年度卒）

先日、実家に帰省したとき、「今年で中学校が閉校になる」ことを耳にしました。3年間通った中学校がなくなるということは、とても寂しいことだなあと改めて感じています。

中学校3年間での思い出はたくさんありますが、生徒会での活動が、その後の私の生き方に大きな影響を与えました。副会長をしていた1年生の時、話し合いの席上で3年生の先輩方が熱心に討論している姿を目の当たりにして、「すごい先輩方がたくさんいるんだなあ」と驚きました。その後3年生では会長も務めさせていただき、先生方の思いや生徒たちの情熱、それをまとめ上げていく難しさ、まさに社会の縮図を体験することができました。教員をしている現在でも当時の経験が大いに役立っています。

中学1年の6月、宮城県沖地震があり、以前の古い木造校舎は立て替えを余儀なくされ、現在ある校舎で初めて勉強した生徒は私たちです。新校舎ということで先生方や私たち生徒は、汚さないように気を遣って生活をしていました。卒業してからは1度も入ったことがなかったので、機会があれば当時を忍びながら訪問したいと思っていたのですが、今となってはそれも叶いそうもありません。

現在私は仙台で生活していますが、実家のある高清水に帰省で車を走らせていると、台町の坂を下りきったあたりで中学校の校舎が見えてきます。その度に懐かしい高清水中学校での生活を思い出していました。次回の帰省では、卒業生としてしっかり校舎のたたずまいをこの目に焼き付けておこうと思います。



**心の想いで・息子の成長**

北村 昭彦（昭和55年度卒）

自分の同級生はその当時2クラスでありましたが人数は49名と一番少ない在校生でした。

小学校卒業前の2月には宮城県沖地震の余震を経験し、中学に入り、6月12日の本震も経験し校舎は傾き上級生のクラスの床が抜け落ちた為、新校舎の建設時期となり1年半程、仮設校舎での勉強を余儀なくされた時期がありました。しかし、この様な状況の中でも部活動に励み当時所属していたバレーボール部において栗原郡大会で新人戦・郡中体連にてメンバーの力で勝利することができ県大会へ出場をしたことは、私の思い出と共に、人との関わりが、この時に育てられたような思いです。

自分の二人の息子も、高中卒業生で卓球部にて日々練習に励んでいました、当の本人たちは思ったように試合成績が伸び悩んだ時期でもありましたが、先輩・後輩の活躍されたおかげで大会への応援などで他校生の運動能力・技術力を見ることで大きな刺激となったことにより、高校に入ってからもこの刺激が精神面・学習面での成長の支えとなり、卓球を3年間続けることが出来たと聞いています。

思い返せば、様々な場面が思い出されますが、その時々が良いこと・悔しかった時など今思えば、「こうした方が良かった、そうだったよな」とか考えさせられることばかりです。そんな時側において話を聞いてくれたのは、同級生の友人、先生方でした。昔も今も先生方の親身になった指導は変わらず、頭が下がる思いです。



中体連（昭和55年度）

長男の息子も何の因果か、7年前の東日本大震災により屋内運動場の天井が崩れ落ちた被害により卒業式が中止となり、後日校長室にて一人ひとりに卒業証書が手渡されたことも思い出します。

高清水中学校は閉校とはなりますが、自分たち卒業生の心の中には永遠に残りますし、地域の絆は終わりではありません、また新たな一歩があると思っています。

今後、先生方の教育への更なる御活躍と健康に留意して頂きたいと心より願います。

最後に、自分が小学校の卒業の時に担任の先生から言われた言葉を紹介します。

「人を見つめる心、他人を見つめる心、そんなふたつの心をもって我がみちを」

閉校を前に

油井 淳子（旧姓木村）（昭和60年度卒）

人生80年として、半分以上を生きてきた今、閉校を前にした母校で過ごした中学校時代を一生懸命思い出しています。

まず一番に思い出すのは古い体育館での部活動です。幼少の頃夢中になって見たアニメに影響され、バレーボール部に所属していた私。ミーハーな性格から熱心に練習に打ち込んだ、というよりは、体育館用具室の地下にあったという謎の骨伝説を探ることや、美しい先輩たちの姿にうっとりしている毎日だったような気がします。それでもルールを覚えピンチサーバーながら試合に少しでも出してもらえた嬉しさは、昨日のこのように思い出すことができます。大人になった今でもPTAバレーで役に立っているな、それで地域の人々と仲良くなれたなど、しみじみと思っています。

次に思い出すのは名物先生のこと。いつも同じ口癖の国語の先生に「語彙力がない」と思っていたり、自分は動かず、運動神経がよいであろう人たちに、見本と称してやらせる体育の先生に「教師たるもの動いて見せろ」と陰ながら思っていたりしました。校種は違えど「先生」と呼ばれる仕事をしている今、なんて生意気だったんだろうと感じています。

さて、いよいよ学習について…。あまり思い出されないのが残念です。

というように、大人のような子どものようなのが中学時代だと思います。そして今の子どもたちの様子は、時代は違えど自分たちの中学時代と何ら変わらないというのが感想です。閉校になった後、自分たちが過ごした教室に入ることができない寂しさが後から湧き上がってくるのかなと想像してしまいます。自分の子どもが最後の卒業生になるのも何かの縁。親子で高中の思い出をいつまでも話題にできたらと思います。



高中卒業生として

佐藤 富一（昭和61年度卒）

数年前、東日本大震災後にもかかわらず、厄年と言うことで昭和61年度卒高清水中学校同級会を開催しました。十数年ぶりに会う人も何人かいましたが、やはり同級生、すぐ昔話に夢中になったものです。オープニングに高中の校歌を電子ピアノではありましたが、中学生当時、実際に演奏していた子に弾いてもらい、贅沢にも生演奏でみんなで声高らかに歌いました。多少薄ら覚えのところはありましたが、意外に全員が声を張り上げて3番まで歌えたことに驚きと感動がありました。その後は当時の中学生のように夜中まで馬鹿騒ぎをし、お互いの顔にマジックで落書きをしながら先生方の悪口（笑）を言い、高中での思い出話をし、何十年経っても変わらない、そんな高中卒業生でした。高中に限らないことではありますが実にすばらしいことだと思いました。

私たち、そして先輩後輩、多くの方が卒業し、地域の方々から愛され、また思い出の詰まった高清水中学校がいよいよ閉校となります。私を含め、親子三代で高中にお世話になった方も少なくないはず。やはり少しさびしいですね。ですが、学校はなくなっても高中は先に話しましたとおり、校歌を歌い、学校生活を思い出し、それを語り、地域では運動会、お祭り、色々な形で私たちの心の中に存在し続けることでしょう。今後、再編された新しい栗原南中学校へ通うことになる子どもたちにも、高中に負けないくらいすばらしい学校生活、思い出を作ってほしいものだと思います。新たな歴史のスタートですね。

最後になりましたが、学校再編にあたり御足労いただきました関係各位、また地域の皆様、そして高清水中学校に感謝と御礼を申し上げまして結びといたします。



桂葉祭（昭和60年度）

オレンジの時代

北村 奈津子（平成10年度卒）



校内体育大会（平成8年度）

高清水中学校の女子生徒体操着がオレンジ（しかも蛍光）だったという事をご存知だろうか。オレンジの地にブルーの3本ラインが入っていて、ハーフパンツではなく、ブルマであった。

私は、後にも先にも、この高中ジャージを超えるインパクトを持つジャージに出会ったことは無い。「みんなで着れば怖くない」精神と、慣れという感覚麻痺により、普段は忘れかけている、自分がこのジャージを着ている。という事も、新人戦、中体連等の校外試合では他校生徒からのある意味熱い視線により、また、遠足や修学旅行ではバスガイドさんの反応によって、「あ、私、オレンジ（蛍光）ジャージ着てるんだった。」と自覚させられ、中学生の過敏で過剰な自意識を刺激した。

そんな破壊力に優れたこの高中ジャージも、正直、嫌いじゃない。当時もきつと、嫌いじゃなかった。私たちが卒業して程なく、制服、体操着のデザインが一新したので、このオレンジジャージを知らない世代の人もあるかと思う。（高中OBでもある父の時は、また違うものだったらしい）

どんな事であれ、（それが例えオレンジジャージでも）他の人が体験していない事を自分は知っている。というのは、なかなか素敵な事のように思う。高清水中学校が無くなってしまふ。その事は寂しい事かも知れないが、高清水中学校での思い出がある。という事は素敵な事であるはずだ。

高清水中学校が無くなる。と聞いて、皆は何を思い、誰と、どんな話をしたのだろうか…。

**真風～一人一人の力で～**

片寄 大 (平成18年度卒)

初めに、寄稿依頼をいただいた高清水中学校PTAの齋会長は勤務先の上司であり、教頭の長田先生は中学時代の恩師でもある。まさに、町はゆかりの高清水である。この不思議な縁に感謝し、本文を作成する。

私が高清水中学校を卒業したのは平成19年3月、もう12年も前のことになる。しかし、当時のことは昨日のように鮮明に覚えている(部分もある)。勉強や進路、友人関係や恋愛など、多感の時期故の悩みも多かった。しかしながら、それ以上に楽しかった思い出の方が多い。そのすべてをここに書き記すのは不可能なため、部活動の思い出について記してみる。

私は3年間剣道部に所属していた。3年生の部員は19名、なかなかの大所帯である。顧問は小野寺大輔先生。先生は剣道も強く背も高い、その上イケメンである。しかし、稽古は非常に厳しく、声が枯れたり全身筋肉痛になったりと大変ではあったが、その後の私の剣道人生の礎となった。岡部優先生、千葉明先生も忘れてはいけない。高中剣道部は多くの先生方のご指導のもと、日々の稽古を続けていた。

最後の市中総体、団体準決勝対栗駒中戦、2-3で惜敗し、あと一歩で県大会出場を逃したこと、稽古中、隣の卓球部やバレー部からボールが飛んできたり、冬の時期にジェットヒーターで袴を燃やして消防車や警備会社が来たりしたのも良い思い出だ。

最後になりますが、高清水中学校ありがとうございました。大変お世話になりました。そして、これまでの高清水中の卒業生の皆さん、現在の高清水中の生徒諸君、これからの栗原南中生に光あれ！誉あれ！栄あれ！

同級生諸君！たまには集まって酒を酌み交わし、当時の思い出を語らしましょう。



中総体 (平成18年度)

思い出

富塚 みさと (平成21年度卒)

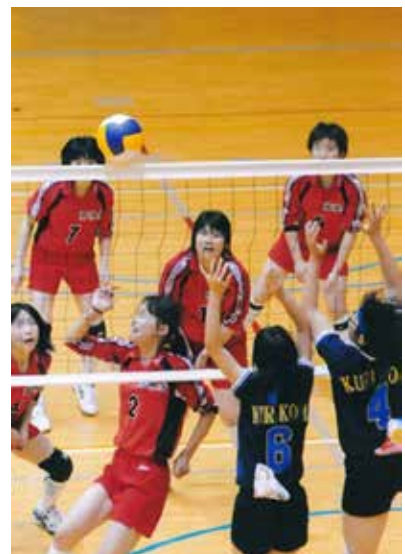
高清水中学校での3年間を振り返ると、今となっては、とても大きな経験をさせてもらった3年間でした。

3年間1クラスで、小学校から変わらない、ほぼ同じメンバーのクラスメイトたちでした。たくさんの出来事を共有してきたので、男女ともに仲が良く、みんなと過ごす毎日がとても楽しかったです。ハプニングもありましたが、みんなで協力して成功させた修学旅行や、桂葉祭でのクラスパフォーマンスなどは、特に印象深く思い出に残っています。もうすぐ卒業して9年になりますが、社会人となった今も変わらず仲良くしてくれる大切な友達ができました。

また、少人数の学校だったからこそ、生徒と先生の距離が近かったような気がします。進路はもちろん、様々なことについて親身になって考え、相談に乗ってくれる先生方はとても頼りになりました。

部活動では、バレーボールを通して大切なことを学ばせてもらいました。正直言うと、あの頃は毎日の練習が辛くて嫌で、悩んだことも多々ありました。そんな中でも、チームで一つの目標に向かっていてから、仲間に支えられ助けられていたから、3年間続けることができました。辛い状況でも目標に向かって諦めず努力すること、仲間と協力し合い感謝の気持ちを忘れないことを学び、その経験が私を強くしてくれました。

人に恵まれ、たくさんの学びがあり、充実していた中学校生活だったからこそ、今の自分があるのだと思います。



中総体 (平成21年度)



閉校にあたって

高橋 太一（平成26年度卒）

私たちが高中を卒業してからはや4年が経とうとしています。高校、大学へと進学し様々な経験をしてきましたがやはり私にとっては高中で過ごした3年間は人生で最も色濃く残っています。

不気味に赤い廊下、異常に異臭が漂う二階男子トイレ、一枚だけ真新しい元3-1教室の天井パネル、一部だけ凹んだ教室の黒板など学校の一見なんでもないようなところに私たちの思い出（爪痕）がしっかりと刻まれています。

朝から天井に靴が刺さっていたり、校長先生との雑談で授業に遅れそれを叱ることが出来ない先生、受験前日まで外で野球をして怒鳴られたのは私たちの中で今でも鉄板の話題です。

高校へ進学しても大学へ進んでも、または就職したとしても地元に戻った時必ず私たちが中学校に立ち寄るのは暖かな先生方と当時の思い出を語りあうことがとても楽しいからです。

あの高中の暖かい空気間は、私たちのようなやんちゃな生徒たちのことを広く理解し受け止めてくれた先生方の人間味あふれる暖かさからくるものです。

キャラクターの濃さ濃さで言えば先生方も生徒に劣らず強烈でした。

仮面ライダーベルトを装着しノリノリで変身する理科のG先生、高中の鬼といえば国語のM先生、居眠り生徒への拳骨と放課後パトロールは欠かさない社会のI先生、高中一リュックが似合う男といえば英語のK先生、生徒の靴が天井に刺さっているのを見て思わず笑ってしまう国語のH先生。などなど。

私たちの高中での思い出を語るのに先生方の存在は必要不可欠です。

私たちにとってこの高清水中学校での大切な友人たち、先生方と過ごしたあの3年間は、いくつになっても忘れることのない思い出であり、私の心の支えです。

私たちの高中はこの度閉校となってしまいました。私たちは帰る場所を一つ失ってしまいました。とても辛いことですが、思い出がなくなるわけではありません、大切な友人、お世話になった先生方はこれからも私の心の支えであり続けます。

栗原南中学校となっても、高中魂がしっかりと流れているのならば、栗原南中学校は私たちの母校です。校舎や名前は変わったとしても変わらず、母校を愛し続けます。

そして、これからも高中の頃の人間味あふれる暖かさを大切にしていってほしいです。

これから栗原南の生徒となる後輩は新しい伝統、校風を一から作り上げることは決して楽ではないと思いますが、私の恩師の言葉をお借りして激励するとすれば、頑張りすぎず頑張ってください。

そして、最後まで高清水中学校を支えて下さった先生方、他の大きな学校に比べて設備も整っていないが大変だったと思います。にも関わらず高中生を愛してくれたことを本当に感謝しています。栗原南になってからも私たちの後輩をよろしくお願ひいたします。

最後に保護者の皆様、この度は高清水中学校がついに閉校してしまいました。保護者の方の中には高中出身の方も多くおられることかと思ひます。校舎が変わってしまうのでお子さんがいらっしゃる保護者の方は負担が増してしまうかもしれませんが、これから新しい栗原南中学校をつくりあげていく子どもたちをサポートしてあげてください。平成26年度卒業生を代表してよろしくお願ひ申し上げます。

これからの栗原南中学校のより良い発展を願ひ多くの生徒たちが帰る場所となることを心から願ひしています。

高清水中学校万歳。



花山合宿（平成26年度）



職場体験（平成26年度）

在校生メッセージ 1年～高清水中学校で楽しかったことや学んだこと

- 自分が楽しかったことは、運動会をチームごとに協力してがんばったことです。運動会を通して、皆で協力して目標を達成する大切さを学びました。
- 自分が楽しかったことは、運動会です。雨で中止になりましたが、体育館できて、チームの皆と協力して楽しくできてよかったです。
- 高中生活で楽しかったことは、フレンドリーな先生方と接したことです。入学当初は「話しづらそう」と思っていたけれど、いざ話してみると楽しいです。
- 僕が楽しかったことは桂葉祭です。生徒一人一人が協力し合い、最高の桂葉祭を作った達成感や協力する大切さを学びました。
- 自分が楽しかったことは、中総体や新人大会のために送った応援をしたことです。とてもおもしろく思え、一生忘れることはないと思っています。
- 僕は部活動の剣道を通して、自分がやったことのない活動に挑戦し、できるようになったことが増え、たくさんのことを学び、達成感を味わいました。
- 僕は、部活動の野球を通して、協力し合うことを学びました。これからもチームのみんなと協力し合って色々なことを学んでいきたいと思っています。
- 1年間過ごしてきて、この19名と共に過ごしたことが一番楽しかったです。学校行事などしてきて、一丸となって協力できて、よい経験ができました。
- 僕は、部活動の卓球をして、ドライブやサーブを練習して、一日ごとの目標を立てたり、直すところを直したりしたことが、スポーツの中で一番楽しかったです。
- I study hard for every subject. A life in JHS is good and I am very happy. I like Takashimizu JHS. Thank you very much. (どの教科も熱心に勉強しています。高清水中の生活は良いので、好きです。どうもありがとう。)
- I like Japanese studying. It's a very good JHS life. Thank you. (日本語の学習が好きです。高清水中の生活はとてもいいです。ありがとう。)





私が楽しかったことは、桂葉祭です。一人一人が「～な桂葉祭にしたい」という気持ちをもって、全校生徒で最高の桂葉祭をつくり上げることができました。

私は、部活動のテニスで先輩や同級生からテニスの基本を学び、4月に全く打てなかったボールが少しずつ打てるようになり、テニスの楽しさを感じました。

私が楽しかったことは、桂葉祭です。先輩方といっしょに高中最後の桂葉祭ができてとても良かったし、みんなで協力し合う大切さを学びました。

自分が楽しかったことは、部活動のテニスです。つらい時には、テニス部全員で声をかけ合い、楽しく出来ました。そして、協力する大切さを学びました。

私が楽しかったことは、駅伝です。夏のツライ練習も先輩や先生方のおかげでのりこえられ、最後までチーム一丸で走ることができた思い出です。

私は、部活動や学校生活を通して、何事にもあきらめずに取り組むこと、協力して何かをクリアする達成感や協力する大切さを改めて学びました。

私は、桂葉祭やクラスでの活動が楽しかったです。皆で活動し、楽しむ時と授業の時でのメリハリをつけることで、楽しさが倍になることを学びました。

私が楽しかったことは、最後の桂葉祭を全校生徒で最高の思い出にしたことです。この活動を通して、先輩・後輩関係なく協力する大切さを学びました。

私は、高中で改めてみんなで協力して何かを達成するときの喜びやすごさを味わいました。そして、これからもみんなでいろんなことに挑戦し、協力したいです。



在校生メッセージ 2年～高清水中学校で楽しかったことや学んだこと

- 自分が楽しかったことは、桂葉祭を全校生徒で、完成させられたことです。この活動を通して、仲間と協力がとても大切だということを学びました。
- 僕は、部活動の卓球をして仲間たちと大会などに出て、自分の弱点などを知り、練習をみんなでして強くなっていくことが分かり、楽しかったです。
- 自分が楽しかったことは、最後の桂葉祭を全校が笑顔で終われたことです。そして、自分は部活のテニスを通して、仲間との協力を学びました。
- 自分が楽しかったことは、高中最後の桂葉祭を大成功で終われたことです。実行委員の活動を通して、仲間と一緒に何かをつくり上げることを学びました。
- 自分が一番印象に残っていることは、桂葉祭です。一人一人が成功させようと協力して、最後にふさわしい最高の桂葉祭を創り上げたと思いました。
- 私は、全ての行事が思い出に残りました。特に桂葉祭です。全校生徒協力し合って成功したことが思い出に残りました。達成感が味わえました。



- 僕は、この学校の中で過ごしてきて、一人一人思いやりや協力することの大切さを学びました。人は少ないけど、残りの生活も大切にしていきたいです。
- 自分は、部活動の卓球を通して、チーム一丸となり毎日頑張ってきたことが楽しかったことです。この仲間がいる大切さと楽しさを学びました。
- 自分が楽しかったことは、桂葉祭を成功させたことです。桂葉祭を通して、一人一人の取り組む姿勢や協力しながら目標を達成させる大切さを学びました。
- 私は、部活動の野球を通して、仲間と協力すること、苦手なことから逃げない大切さを学ぶことができました。そして、優勝する喜びを味わえました。
- 楽しかったことは、友達と話して過ごしたことです。
- 僕は、部活動のバレーボール部を通して、最後まであきらめずに決めた目標を成し遂げたときの達成感と、誰にでも自分から挨拶する大切さを感じました。
- しょくぱたいけんでは、いっしょうけんめいはたらくことのたいせつさを学びました。しょうらいは、自分のとくいなことがしごとになればいいと思います。
- ※パキスタンに帰国中。

楽しかったことは2つあります。1つ目は花山です。ピザと焼き板づくりが楽しかったです。2つ目は桂葉祭です。みんなと協力し合ってきたからです。

I always wanted to learn Japanese very good, but now I learned a lot of things in Japanese. I always want myself to follow the rules and always try to spend a best part with my teacher and schoolmates.
(頑張って日本語の学習をして、また学校の先生や友達とよりよく過ごそうと努力できた。)

※パキスタンに帰国中。

高中での思い出は、桂葉祭です。何もかもがはじめてで色々大変だったけど、クラスのみならず全校で協力して成功できてよかったと思います。

私は、この校舎で過ごしてきた生活の中で、一人一人が思いやり、協力することを学びました。人数は少ないけれど、残りの生活を大切にしたいと思います。

楽しかったことは、自分にとって最初で最後の桂葉祭です。2年生で協力して、一から総合の発表を作り上げられたので、互いに支え合う大切さを学びました。

私が楽しかったことは、桂葉祭を最高の思い出にできたことです。人数が少なくても全員で協力すれば最高の桂葉祭にできると分かり、協力する大切さを学びました。



学校で塗り絵をしたり、先生と話したりしたことが思い出です。

自分が楽しかったことは、全校で協力した桂葉祭です。桂葉祭では、みんなで力を合わせて協力する楽しさを学ぶことができました。

自分が楽しかったと思ったのは、運動会です。1～3年生で取り組んだチームで、協力しあい、心をついてリレーとなわとびができました。

私が楽しかったことは、桂葉祭です。初めて総合の中で劇をやって面白かったし、使わないようなものから作り上げるのが楽しいことを学びました。

私は、高中で過ごした生活を踏まえて、集団行動で大切なことと何にたいしてもあきらめず挑戦することを学びました。

※パキスタンに帰国中。

自分が楽しかったことは、桂葉祭の2年生の発表です。最後に2年生全員で歴史を調べたり劇をしたり小道具を作ったりして、協力する大切さを学びました。

在校生メッセージ 3年～高清水中学校で楽しかったことや学んだこと

自分が楽しかったことは、修学旅行でみんなの絆が一つになったことです。私はバレーボール部に入り、何事にも挑戦し達成感を味わうことができました。

楽しかったことは、クラスのみんと過ごしたことです。みんなで一緒に同じものを作り上げたときの達成感はとてもすごかったです。

私は、部活動の卓球を通して、最後まで諦めずに取り組むことの大切さを学ぶことができました。だから、これから先も生かしていきたいと思います。

中学校生活を通して学んだことは、努力は必ず報われるということです。努力した結果、部活で県大会に行ったり、最高の文化祭を作ることができました。

自分が楽しかったことは、勉強です。分からなかった問題が解けるようになった達成感を、仲間と共に味わいました。3年間で協力の大切さを学びました。

私は、バレーボール部で最高の仲間とできたことです。仲間と厳しい練習を乗り越え、色々な大会で良い結果を残せた時には、最高の瞬間を味わえました。

私は、部活動の卓球を通して、卓球の楽しさや、目標をもって活動することの大切さを学ぶことができました。



私はこの中学校での日々の生活を通して、仲間の大切さや一つのものを協力して創り上げる楽しさを実感することが出来ました。

楽しかったことは、桂葉祭を全校生徒が一丸となって作り上げたことです。

私はみんなと一緒に過ごせたことが一番楽しかったです。仲間がいることの大切さを学びました。

僕が楽しかったことは、クラスメイトと一緒に過ごせたことです。クラスのみんで過ごしたり話をしたり、みんなでの達成感はとても良かったです。

修学旅行で行ったディズニーランドは、みんなと楽しい思い出ができました。

僕が楽しかった時は、四時間授業で帰れる日でした。その日はいつもうれしくて、授業も集中することができました。友達とも明るくしゃべれました。

学校の体育館でバスケットボールをしたことが思い出です。

私はこの学校で団結力を学びました。壮行式での全校での応援は、大会前の励みになりました。私はこの学校でよかったと思います。

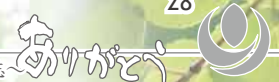
私は、部活動でテニスと陸上を両立して行いました。部活動を通して、一つのことに夢中になって取り組む事の楽しさや、団結することの大切さを学びました。

私は、部活動のバレーボールを通して、仲間と力を合わせて一つの目標を達成する難しさ、辛い時に助けてくれる仲間の存在の大切さが分かりました。

- 自分はこの学校でたくさんのことを学び、友達とたくさんの思い出を作りました。だから、閉校は心苦しいですが、最後は笑顔で終わりたいと思います。
- 自分は、高清水中学校で色々な事を学びました。特に桂葉祭です。桂葉祭では、全校生徒で協力する力を育むいい機会になったと思います。
- 様々な学校行事を、このクラスみんなとしたこと一つ一つが、私の大切な思い出です。みんなといられる時間が有限だということ学びました。
- 自分が楽しかったことは、桂葉祭の有志でコントをしたことです。みんなを笑わせることができ良かったです。良い思い出になりました。
- 高清水中学校では、英語の勉強をがんばりました。あとは、J R C 委員会で花だんに花をうえることをがんばりました。将来は大工になりたいです。
- 私は、部活が楽しかったです。部員全員で一緒に笑ったり、練習したりすることで私は、仲間の大切さをすごく学ぶこともできました。
- 私は、部活動でチーム一丸となって戦ったことや日々の何気ない練習が楽しかったです。そして仲間と協力することの大切さを学ぶことができました！



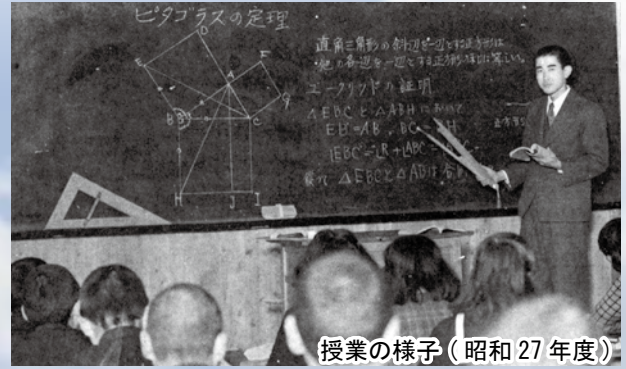
- 私が楽しかったことは修学旅行です。みんなと楽しく過ごせたと、大切なことをいろいろ学びました。本当に楽しかったです。
- 私が楽しかったことは、桂葉祭で全校が協力し、伝統を引き継ぎ最高のものを作り上げた事です。少ない人数だからこそ、味わえたものがあったと思います。
- 私が楽しかったことは、桂葉祭を先輩方の伝統を守りながら作り上げることができたことです。少ない人数だったけれど、仲間と協力することができました。
- 私が中学校生活で一番楽しかったことは、クラスのみんで行った修学旅行です。この修学旅行で、時間の大切さなどを学び、最高の思い出が作れました！
- 私の楽しかったことは、修学旅行に行ったことです。修学旅行を通して、クラスで団結すること、言われる前に行動することの大切さを学びました。
- 私が楽しかったことは桂葉祭です。クラスのみんで協力して劇を行ったことが、とても印象的でした。全校生徒全員で桂葉祭を創り上げることで達成感を感じました。
- 私が高清水中学校の生活を通して学んだ事は、人と協力する事です。少ない人数だからこそ、人と協力する事の大切さを学ぶ事ができました。
- 私が心に残ったことは、中学校普通の生活です。何気ない日々が、中学校生活を成り立たせているのだと思います。一人一人が楽しく過ごせて良かったです。
- 私が楽しかった事は桂葉祭です。人数が少ないからこそ、全校で団結して、長年に渡って続いてきた伝統を守り、すばらしい桂葉祭にする事ができました。



思い出のアルバム



職員一同(昭和27年度)



授業の様子(昭和27年度)



集合写真(昭和27年度)



野球部(昭和35年度)



授業の様子(昭和36年度)



陸上競技部(昭和35年度)



運動会(昭和36年度)



職員一同(昭和37年度)



陸上競技大会(昭和37年度)



テニスクラブ (昭和41年度)



集合写真 (昭和41年度)



集合写真 (昭和42年度)



修学旅行 (昭和43年度)



運動会 (昭和43年度)



クラス対抗野球 (昭和44年度)



ブラスバンド (昭和44年度)



書道クラブ (昭和46年度)



美術クラブ (昭和46年度)



生花クラブ (昭和46年度)



授業の様子 (昭和48年度)



集合写真 (昭和48年度)



修学旅行 (昭和49年度)

思い出のアルバム



校内水泳大会（昭和49年度）



運動会（昭和50年度）



修学旅行（昭和51年度）



修学旅行（昭和50年度）



桂葉祭（昭和51年度）



校内陸上大会（昭和52年度）



校内陸上大会（昭和52年度）



修学旅行（昭和54年度）



科学クラブ（昭和54年度）



中体連 (昭和55年度)



修学旅行 (昭和55年度)



中体連 (昭和57年度)



中体連 (昭和57年度)



修学旅行 (昭和58年度)



桂葉祭 (昭和58年度)



校内陸上大会 (昭和59年度)



修学旅行 (昭和59年度)



桂葉祭 (昭和60年度)



修学旅行 (昭和62年度)



中体連 (昭和62年度)



中体連 (昭和63年度)



桂葉祭 (昭和63年度)



碁石拾い (平成2年度)



中体連 (平成2年度)



集合写真 (平成3年度)



中体連 (平成3年度)



NHK音楽コンクール (平成4年度)



集合写真 (平成4年度)



桂葉祭 (平成4年度)



水泳大会 (平成5年度)



陸上競技大会 (平成5年度)



NHK音楽コンクール (平成5年度)

思い出のアルバム



運動会（平成6年度）



修学旅行（平成6年度）



校内マラソン大会（平成7年度）



陸上競技大会（平成7年度）



集合写真（平成8年度）



授業の様子（平成8年度）



50周年記念式典（平成9年度）



運動会（平成9年度）



職場体験（平成11年度）



中体連（平成11年度）



修学旅行（平成12年度）



花山合宿（平成13年度）



中総体（平成13年度）



球技大会（平成15年度）



職場体験（平成15年度）



郡駅伝大会（平成16年度）

思い出のアルバム



郡音楽祭 (平成16年度)



修学旅行 (平成17年度)



稲刈り (平成18年度)



職場体験 (平成18年度)



花山合宿 (平成19年度)



古代米田植 (平成19年度)



クリーン作戦 (平成20年度)



国際交流 (平成20年度)



中総体（平成21年度）



修学旅行（平成21年度）



授業の様子（平成22年度）



桂葉祭（平成22年度）



入学式（平成23年度）



男子バレーボール部（平成23年度）



志津川合宿（平成24年度）



国際交流（平成24年度）



芸術鑑賞（平成25年度）



少年の主張（平成25年度）



市駅伝大会（平成26年度）



桂葉祭（平成27年度）



職場体験（平成28年度）



桂葉祭（平成28年度）



陸上競技大会（平成29年度）



地区運動会（平成29年度）



編集後記

栗原市立高清水中学校 教頭 長田 智紀

私にとって2度目の高清水中学校勤務。閉校の仕事に携わるとは夢にも思いませんでした。

72年の歴史を振り返るには、紙面の関係上どうしても限りがあり、卒業生および、関係の皆様方の思いをくむことができなかつたように思います。それぞれの脳裏にご自身の高中での思い出を浮かべてご覧いただければ幸いです。



栗原市立高清水中学校閉校記念誌

発刊 平成31年3月

発行 栗原市教育委員会

企画・編集 栗原市立高清水中学校

